

# 資 料

資料1 令和7年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告（概要）・・・P. 1～P. 3

資料2 関係各課 事業報告  
小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4  
学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5～P. 12

資料3 令和7年度事業別市町村別事業実績一覧・・・・・・・・P. 13

資料4 令和8年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画・P. 14 ～P. 15

資料5 令和8年度事業別市町村別事業実施予定一覧・・・・・・・・P. 16

資料6 令和7年度地域学校協働本部事業に関する取組状況調査（まとめ）・・・・P. 17～P. 22

資料7 NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告・・・P. 23～P. 27

令和7年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等事業報告(概要)

1 推進委員会の実施

- 第1回  
【開催日】令和7年11月6日  
【内 容】令和6年度実績報告、令和7年度中間報告等
- 第2回  
【開催日】令和8年2月6日  
【内 容】令和7年度事業報告(実績見込)、令和8年度事業計画等

2 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(1) 全体研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 (全体研修会) 兼 地域とともにある学校づくり研究協議会 ※小中学校課との合同開催	令和7年8月18日	高知県立ふくし交流プラザ	[基調講演] 演題「学校と地域の学びの未来」 ～子どもたちの心を育む学校・家庭・地域との連携・協働～  [パネルディスカッション] テーマ「持続可能な社会の創り手を育成するコミュニティ・スクール」  [グループ交流]	【講師】 鈴木 廣志 氏(文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員)  【モデレーター】 鈴木 廣志 氏(文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員)  【パネリスト】 小川 真悟 氏(高知市立春野中学校長) 中村 彰宏 氏(春野中学校区学校運営協議会 会長) 嶋田 数昌 氏(甲浦地区保小中合同学校運営協議会 会長) 川上 確也 氏(いの町立伊野南小学校長)	98名	84%	【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働本部整備率 100%(R5より) ・高知県版地域学校協働本部整備率 100%(R6より)←毎年3要件確認。継続実施  ・昨年度に引き続き、コミュニティ・スクールを所管とする小中学校課と合同でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた研修会を開催することができた。開催要項の一本化、グループ協議では学校関係者と行政、地域の関係者が一つのグループとなり、情報共有やテーマについて話し合うことができた。来年度も合同開催の予定。	【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)やボランティアの人材確保・育成  ・市町村や学校によって活動内容に差がある。地域学校協働活動事例集の取組を周知するとともに様々な場面で活用し、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。  ・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に向け、育てたい子どもの姿を共有し、活動の目的や必要性を明確にした協働活動を展開していくことで、社会に開かれた教育課程の実現につなげていく。そのための核となる、市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支援方法等を検討していく。また、市町村担当者向けの研修についても検討していく。
	高知県地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター)研修会 (全3回)	令和7年10月21日 令和7年10月22日 令和7年10月23日	第1回:安田町文化センター 第2回:四万十市総合文化センター 第3回:高知県立高知青少年の家	[基調講演] 演題「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」～子どもたちの学びのためにコーディネーターとしてできること～  [実践発表]  [グループによるワークショップ]	【講師】 竹原 和泉 氏(NPO法人まちと学校のみらい 代表理事)  【実践発表者】 (第1回 東部会場、第2回 西部会場) 福井 佳織 氏(高知市立義務教育学校土佐山学舎校長) 高橋 幹博 氏(義務教育学校土佐山学舎学校運営協議会 会長)  (第3回 中部会場) 北添 忠 氏(四万十町立米奥小学校長) 村上 智之 氏(米奥小学校地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員)	第1回 42名 第2回 31名 第3回 45名	88% 86% 84%	・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動において、子どもの課題解決に取り組むことで、改善・解決につながった割合 90%  ・民生委員・児童委員の参画率 100%  ・子どもたちが地域住民と交流し、多様な体験をすることにより、自尊感情の向上につながった。95.5%  ・地域学校協働活動研修会や地域コーディネーター研修会、市町村担当者会において、高知県の課題に沿ったテーマに基づいた講師を選定し、会の流れを工夫することで、フレッシュアップを図り、質の向上につながった。	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、管理職だけでなく、教職員等への理解を促進するために研修会のあり方を検討する必要がある。そのために関係各課との情報の共有や連携体制を強化していく。
	高知県社会教育実践交流会	令和8年1月24日	高知県立青少年センター	分科会・分散会・交流タイム	【分科会実践発表者】 酒井 紀子 氏(育つ会とおわ代表) 海老川 真美 氏(日南・大平集落活動センターひなたぼっこ集落支援員) 宮本 海帆 氏(硬式テニスクラブFSS.tennis-team代表) 学生合同なぶら、高知県青年団協議会 北山 幸治 氏(高知県小中学校PTA連合会会長) 嶋田 あゆみ 氏(甲浦集落活動センターなぎ集落支援員)	-	-	-	-

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
① 放課後子ども教室児童推進事業及びケージ放課後児童クラブに係る推進事業向上研修に係る支援員等研修	危機管理対策研修	令和7年7月4日 令和7年7月7日 令和7年7月8日	中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 東部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	250名	99%	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・取組状況調査や市町村ヒアリング、現場訪問の際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことにより、昨年度に比べて研修に参加する市町村が増えた。 また、学び場人材バンクの出前講座の新たなメニューを追加したことで普段では行っていない体験活動等を行うことができてきている。	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・参加する自治体や放課後子ども教室、放課後児童クラブの箇所数は増えているが、参加がない放課後子ども教室、放課後児童クラブが一定数ある。また、放課後児童クラブに比べて放課後子ども教室の参加者が少ないことから、参加が少ない自治体に参加している自治体の取組みを共有していくことで参加を促す。
	危機管理対策研修・オンデマンド配信	令和7年8月19日～10月17日	オンデマンド配信	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	-	-	・放課後子ども教室や放課後児童クラブを開設していく上で、子どもとの関わり方に関して、考慮している現場の方が多いことから、子どもとの関わり方に関する研修会を昨年度に引き続き2回行った。ニーズの多さから多くの方に参加してもらうことができた。	・昨年度に引き続き、市町村担当者及び支援員の方からのニーズが高い、発達障害に関わる内容については、アンケート等の内容から個別支援を求めているケースが多いため、市町村ヒアリングの際に、課題を共有していく。視察先での好事例については、市町村担当者及び支援員の方に共有していく。
	子どもの発達理解促進研修会	令和7年9月9日 令和7年9月16日 令和7年9月18日	東部会場:高知県立青少年センター 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 中部会場:須崎市立市民文化会館	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと」 ～ソーシャルスキルの視点で～	講師:高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	212名	99%	・ヒアリング等での周知や担当者に連絡をしているが、参加率が低い自治体が一定数ある。引き続き、市町村担当に周知するとともに、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの視察を行った際に周知していく。	・県内の特別支援学級に在籍している児童や通級による指導を受ける児童は増加傾向にあることから、次年度も2回以上は子どもとの関わり方に関する研修会を計画していく。
	子どもの発達理解促進研修会・オンデマンド配信	令和7年9月26日～12月19日	オンデマンド配信	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと」 ～ソーシャルスキルの視点で～	講師:高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	-	-	・オンデマンド配信については、現場からのニーズがあることから引き続き継続していく。	
	子どもの発達障害等の理解促進研修会	令和7年11月12日 令和7年11月14日 令和7年11月20日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:高知県立青少年の家	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～ふつうをアップデート～	講師:障害児童通所支援施設「ころとからだの発達相談室いところ」 代表 森實 摩利子 氏	279名	100%		
	子どもの発達障害等の理解促進研修会・オンデマンド配信	令和7年12月26日～令和8年2月27日	オンデマンド配信	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～ふつうをアップデート～	講師:障害児童通所支援施設「ころとからだの発達相談室いところ」 代表 森實 摩利子 氏	-	-		
	安全対策研修会	令和8年1月14日 令和8年1月20日 令和8年1月23日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 中部会場:須崎市立市民文化会館 東部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習:「救急時における応急処置について」～家庭にあるものを使って応急処置の体験をしていただきます～	講師:日本赤十字社 高知県支部	-	-		
	安全対策研修会・オンデマンド配信	令和8年2月上旬～令和8年3月下旬(予定)	オンデマンド配信	◆講義・演習:「救急時における応急処置について」～家庭にあるものを使って応急処置の体験をしていただきます～	講師:日本赤十字社 高知県支部	-	-		
② 放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和7年10月26日 令和7年11月3日 令和7年11月16日 令和7年11月24日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	66名 (修了:56名)	-	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数(うち修了者数) R5:82(75)→R6:74(65) ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたくても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行っていく。 ・県内における有資格者数および現場のニーズによっては、開催方法の検討が必要。
③ 子育て児童支援員研修 放課	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和7年9月6日 令和7年9月7日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	合同会社 All HEROs 代表 中山 芳一 氏	25名 (修了:24名)	-	【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。 ・受講者数(うち修了者数) R5:30名(29名)→R6:35名(23名)	【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。 ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
③ 「高知家の親のおよび子育てプログラムを学ぶ活用した講座の開催」	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会	基礎編: 令和7年9月11日	高知県立高知青少年の家	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ「体験型講演会」 ・講義とロールプレイによる体験学習	講師: NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者6名 認定者2名	100%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・18市町村 ・家庭教育支援チーム:4市町村 (土佐町、須崎市、日高村、宿毛市)  ・「親プロ」活用講座 近年の活動成果 回数 参加者 ファシリテーター派遣 R1 20回 536名 33名 R2 7回 76名 9名 R3 7回 109名 7名 R4 13回 155名 15名 R5 18回 396名 18名 R6 17回 641名 19名 R7 23回 542名 23名 (R7. 12月末現在)	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金の活用拡大 →補助金の活用事例等を共有するなど、補助金の活用、市町村の家庭教育支援事業の推進に向けて働きかける。  ・親プロファシリテーターのスキルアップ →親プロファシリテーターフォローアップ研修会を実施した。今後も継続した取組が必要。
		活用編: 令和7年9月19日	高知県立高知青少年の家	プログラムの概要、プログラム体験	講師: 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員		80.0%		
		実践編: 令和7年9月26日	高知県立高知青少年の家	プログラム演習	講師: 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員		100%		
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーターフォローアップ研修会	令和7年10月28日	高知県立青少年センター	【説明】 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の取組について	説明: 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	7名	100%		
				【講演】 「私がファシリテートするときに意識していること」	講師: こうち社会教育・生涯学習研究会事務局長 北川 力 氏				
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和7年5月10日	高知市 春野南ヶ丘PTA 子ども会	女の子の体と心	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名	-		
		令和7年6月1日	高知市 附属幼稚園	子どもの心(感情)を育てるために～ちやんと泣ける子に育てよう～	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	54名			
		令和7年6月3日	南国市 あげぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	21名			
		令和7年6月13日	黒潮町 佐賀保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	30名			
		令和7年6月14日	香南市 須野小学校	ケータイ・スマホとの付き合い方	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	25名			
		令和7年6月17日	室戸市 佐喜浜保育所	スマホ時代の子育て	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	11名			
		令和7年6月20日	南国市 あげぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	25名			
		令和7年6月21日	高知市 春野弘岡上保育所	絵本の読み聞かせ講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	17名			
		令和7年6月26日	土佐市 みのり保育園	子どもの関わり	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	13名			
		令和7年6月27日	黒潮町 南部保育所	子育て中のイライラとうまくつきあおう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	14名			
		令和7年6月28日	四万十市 東中筋小学校	基本的な生活習慣の大切さ～「メディアとの適切な接し方」について～	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	65名			
		令和7年9月4日	土佐市 みのり保育園	子ども理解と関わり方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	6名			
		令和7年9月4日	室戸市 羽根中学校区	早ね早おき朝ごはん、元気もりもり大作戦!	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	75名			
		令和7年9月18日	黒潮町 地域子育て支援センター	子育て中のイライラとうまくつきあおう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	7名			
		令和7年9月20日	土佐市 新居小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの?	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	31名			
令和7年10月1日		越知町教育委員会事務局生涯学習課	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	23名				
令和7年10月31日		黒潮町 大方中央保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	32名				
令和7年11月1日		四万十市 あおぎ保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	11名				
令和7年11月5日		仁淀川町 池川こども園	親子読書の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	39名				
令和7年11月27日		須崎市地域子育て支援センターサンサンひろば	子どもは「生き生き」してる?～『子どもは遊びの天才だ!』～	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	8名				
令和7年11月29日	四万十市 竹島保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	10名					
令和7年12月2日	香南市総合子育て支援センターにこなん	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	8名					
令和7年12月4日	黒潮町地域子育て支援センター	赤ちゃんや子どもの食育について	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名					
令和8年3月5日	須崎市地域子育て支援センターサンサンひろば	楽しく向き合う子どもの食事	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター						
④ 「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和7年11月25日	高知県立塩見記念青少年プラザ	(1)報告 ①「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 ②高等学校卒業程度認定試験について ・高知県の現状 ・若者サポートステーション利用者実施状況 ③各市町村の生活保護受給世帯数について  (2)意見交換 ・学習相談・学習支援に関する具体的方策 ・高等学校卒業程度認定試験 ・支援対象者の誘導 ・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援 ・支援における関係機関の連携 ・事業成果の評価検証 など	若者サポートステーション所長等	9名	-	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(9名[当課事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 同 人権教育・児童生徒課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課1名 同 子ども家庭課1名、同福祉指導課1名 各若者サポートステーション2名  ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の今後の事業展開に向けた連携を図ることができた。  ・11月末実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者 66名 新規登録者 49名 学習相談 462件、実人数 83名 学習支援 503件、実人数 43名 アウトリーチ 241件、実人数 34件 就労 19名(正規0、非正規 16、職業訓練3) 修学 13名(進学7、復学0、高卒認定6)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・高卒認定試験については、新教育課程となってから内容も変わり、R8年度からは「情報」の科目も新たに入ってくるため、対策が必要である。  ・サポートステーション利用者支援については、対象者個人だけではなく、家庭全体に対しても支援が必要となるため、他部署との連携が不可欠である。  ・次年度においても、労働、福祉部局等との連携・協働を推進するため、年1回、実施していく。

## 『地域とともにある学校づくり』推進に向けての取組」シート取りまとめ

## 〔一体的推進につながった事例〕

- 学校運営協議会において、子どもたちの学校への送迎の多さについて熟議し、保護者へ呼びかけを行う必要があることが話し合われた。その後、地域学校協働活動のメンバーと PTA 役員が中心となり、保護者や生徒に自転車通学や徒歩通学を推奨するポスターを作成し配布した。
- 学校運営協議会で「防災」を議題にして話し合い、その後、児童の作成した総合防災訓練への参加呼びかけのチラシを児童とともに配付した。
- 学校経営方針の特色を活かし、地域との連携・協働の積極的な推進（地域連携）について協議し、地域の祭りへの参加・出店をすることとした。実行委員会の方たちと協議し、助言や支援をいただいて学校林活動で切り出した木材を活用したコースターの作成と販売を行った。

## （働き方改革につながった取組）

- 体験授業について、学校運営協議会で日程や内容等について確認し、地域コーディネーターを中心に講師依頼や準備等をしていただくことで、学校の負担軽減となった。
- 市全体で地域学校協働活動推進員（コミュニティ・スクール推進事業）を各校 1 名配置（市内小中学校）し、学校運営への参画や地域との連絡調整等を担っていただくことで、教員の業務負担の軽減となった。
- 地域ボランティアによる学習支援や学校環境整備、部活動指導等により、学校の働き方改革に繋がっている。
- 地域の人に環境整備や掃除に協力してもらうことで、学校の掃除を週 2 回に減らすことができ、教職員の事務作業時間の確保につながっている。

## （部活動支援）

- 部活動指導において、地域の指導者や経験者の活用により専門性の高い指導・支援を行うことができ、地域と学校の連携がより強化となった。
- 現在の卓球部の指導員の継続に加え、新規で陸上部の指導員を次年度依頼することとした。
- 部活動（テニス部・文化部）への活動支援員の配置をしている。

## （協議会運営の工夫）

- 地域学校協働本部と学校運営協議会の開催日を同日とし、活動内容の共有等に努めた。
- 所属や活動分野が偏らないよう学校運営協議会と地域学校協働本部の会の構成員を学校関係者・教職経験者・地域代表者等、バランスよく配置する組織に見直した。また、小中のコーディネーターと主任児童委員の 3 名が両会を兼務しており、連携・協働の点においても学校への協力体制がより整った。
- 学校運営協議会の事務局として以前は教育次長のみが参加していたが、令和 6 年度より教育振興係長 1 名、学校担当 1 名を加え 3 名体制とした。学校教育と社会教育両面からの伴走支援をより充実させるため教育振興係長が参加することとしている。

# 令和7年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校安全対策課

## 事業目的

子供たちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子供の安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

## 事業内容

- (1) スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバス乗降時も含む）の巡回指導等の実施
- (2) スクールガード（学校安全ボランティア）養成講習会の開催
- (3) スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施

## 令和7年度実績

### ○スクールガード・リーダー連絡協議会の開催

・日時：令和7年5月30日（木） 14:00～16:00

オーテピア高知図書館 4階 研修室

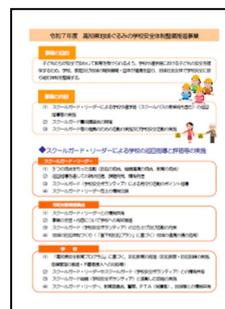
・目的：地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダー活動内容や見守り活動の充実に向けて、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

・参加人数：スクールガード・リーダー 20名（※令和6年度参加者 24名）

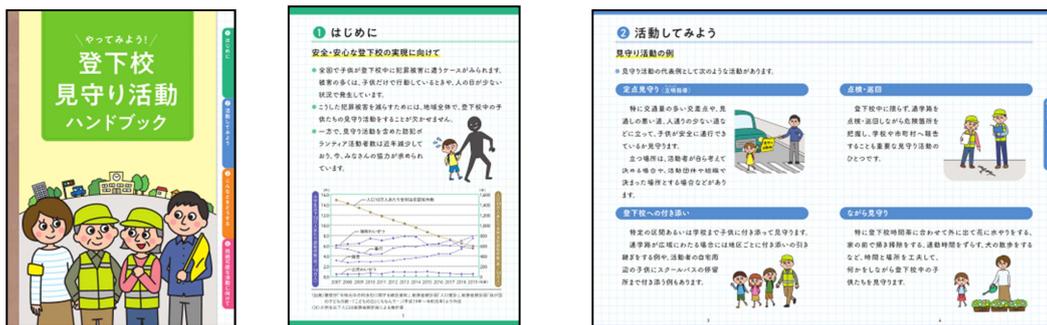
各市町村担当者 17名（※令和6年度参加者 17名）



○「スクールガード・リーダーの活動内容リーフレット」（学校安全対策課 作成）を各スクールガード・リーダー及び各市町村担当者に配付



○「登下校見守り活動ハンドブック」（文部科学省 作成）を各スクールガード・リーダー及び各市町村担当者に配付



○学期末ごとに、事業実施市町村から提出される「スクールガード・リーダー活動報告書」（写し）からスクールガード・リーダーの活動内容を把握、必要に応じて市町村に聞き取り  
 ※年度末に、事業実施各市町村から「実績報告書」の提出があり、実績及び成果と課題を確認予定

## 成果と課題

### 【成果】

- スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施（※スクールガード・リーダー活動報告書より）
  - ・見守り活動を行う中で、危険だと感じた場所や児童等の行動等については、学校へすぐに報告するようにした。その後、学校や教育委員会等もすぐにできる対応を考えており、地域で連携し、学校安全に取り組む体制が整えられている。
  - ・見守り活動中に子供たちへ積極的に声かけするだけでなく、学校行事等へ参加したこともあり、子供たちからも積極的に挨拶されるようになった。子供たちに、見守ってもらっているという安心感を与えることができたのではないかな。
- 学校安全活動
  - ・児童の見守り、声かけ、挨拶運動、学校行事への協力など、地域の実情に即した幅広い活動を実施することで、地域の見守り活動として定着しつつある。

### 【課題】

- スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施
  - ・スクールガード・リーダーの人材不足及び高齢化
  - ・スクールガード・リーダー不在時の子供たちの安全確保策
  - ・児童生徒の安全を見守る体制の強化
- 学校安全活動
  - ・新規スクールガード（学校安全ボランティア）の確保
  - ・スクールガード同士の情報交換
  - ・各学校等と連携した活動内容の充実、そのための体制づくり

## 令和6年度高知県学校安全の取組状況に関するアンケートより

スクールガード等の見守り実施状況（PTAの見守り活動を含む）は、平成26年度以降は小学校において100%となっている。今後は、見守り活動が組織的に行われるよう取り組む必要がある。

## 今後に向けて

- ・「登下校防犯プラン」に基づき、組織的な見守り活動実施や児童生徒の安全確保の強化に向けて、事業未実施市町村に本事業の活用を今後も働きかけていく。特に、地域学校協働活動の見守り活動に係る経費を本事業から補助できることを市町村に周知する。

※令和8年度も23市町村で実施予定。

- ・スクールガード・リーダーの活動だけでなく、スクールガードの養成や、ながら見守り活動の有用性を改めて周知し、取組が拡充するよう働きかけていく。
- ・スクールガード・リーダー連絡協議会については、令和8年度も実施予定。講師は、立正大学大学院文学研究科社会学専攻 立正大学文学部社会学科 教授 小宮信夫氏を予定しており、地域における見守り活動の充実について、理論に基づいた講演をお願いしている。

# 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業



文部科学省

学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体:都道府県及び市町村 ■補助率:国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

## スクールガード・リーダーの育成支援

- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

## スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、**見守りの人材確保と質の向上**



## スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施
- 活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

## スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

- 「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
- 子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、**見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言**

**地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築**

# 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

目的・・・地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが、安全で安心して学校生活を送ることができる学校の確立をめざす。

②  
スクールガード養成講習会  
の開催

☆スクールガード（学校安全ボランティア）を養成するための講習会の開催

①  
スクールガード・リーダー  
による学校や通学路（ス  
クールバスの乗車時も含  
む）の巡回指導等の実施

☆警察官OB等、防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして委嘱  
☆学校への巡回指導、登下校の見守り活動への助言、を実施

③  
スクールガード等の増員  
のための活動の実施及び  
学校安全活動の実施

☆スクールガード等を増員するための広報活動等の施策を実施  
☆学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を見守る活動を実施

地域ぐるみで子どもの安全を守る体制の確立

高知県犯罪のない安全安心まちづくり条例

第16条1項 学校等における児童等の安全の確保のための指針

第17条1項 通学路等における児童等の安全の確保のための指針

# 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：2/3（国1/3・県1/3）＊中核市除く市町村が対象

## ◎ 次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R7年度の状況
① スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）巡回指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。</li> <li>・スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導や、スクールガード（学校安全ボランティア）に対する助言等を行う。</li> <li>・スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができることとするが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。</li> <li>・なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>（注意事項）</b> 国の予算等の都合により希望どおりとならない場合があります。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。</li> <li>・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23市町村で実施</li> <li>・スクールガード・リーダー45名に委嘱</li> </ul>
② スクールガード養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。</li> <li>・なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費（講師謝金）</li> <li>・旅費</li> <li>・使用料及び賃借料（会場借上料）</li> <li>・需用費（印刷製本費、消耗品費）</li> <li>・役務費（通信運搬費・保険料）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。</li> <li>・ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市で実施</li> </ul>
③ スクールガード等の増員のための活動及び学校安全活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード等を増員するための広報活動等施策を実施する。</li> <li>・安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費（講師謝金）</li> <li>・旅費</li> <li>・使用料及び賃借料（会場借上料）</li> <li>・需用費（印刷製本費・消耗品費）</li> <li>・役務費（通信運搬費・保険料）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帽子や腕章など見守り活動に直接必要な経費及び家庭や地域の関係機関・団体と連携の場の構築に必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。</li> <li>・なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。</li> <li>・スクールガード・リーダーやスクールガード等の装備品（さすまた、防刃ベスト・グローブ等）を対象とすることができる。</li> <li>・備品購入費は、対象外とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村、香南市、南国市、いの町、梶原町、中土佐町、宿毛市、大月町で実施</li> </ul>

令和7年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー名簿

No.	担当地域 (市町村等)	氏名	登録 年度	巡回等 学校数 うち 小学校	拠点校(部署)	巡回担当予定校(園)	教育委員会			
							担当部署	担当者	連絡先 (tel・fax)	
1	1 室戸市	中野 金夫	H18	4	2	室戸市 教育研究所	佐喜浜小、室戸小、 佐喜浜中、室戸中 吉良川小、羽根小、 吉良川中、羽根中	室戸市教育委員会 学校教育課	門脇 一馬	tel 0887-22-5141 fax 0887-22-1120
2		栗尾 博義	H19	4	2					
3	2 安芸市	清岡 豊	H30	3	2	安芸市 少年育成 センター	川北小、土居小、安芸中 下山小、伊尾木小 井ノ口小 赤野小、穴内小 安芸第一小	安芸市 少年育成センター	勝賀瀬 浩太	tel 0887-35-1020 fax 0887-35-1051
4		小松 孝臣	H25	3	3					
5		吉田 博幸	H31	3	3					
6	3 東洋町	生田 幹明	H23	1	1	野根中学校	野根中	東洋町教育委員会	土屋 美奈子	tel 0887-29-3037 fax 0887-24-3102
7		光本 速雄	F2	2	1	甲浦小学校	甲浦小 甲浦中			
8	4 奈半利町	能勢 幸利	H22	2	1	奈半利町 教育委員会	奈半利小、認定こども園なほり	奈半利町教育委員 会	天野 恵太	tel 0887-38-8188 fax 0887-38-8166
9	5 北川村	牛窓 雅人	F3	2	1	北川村 教育委員会	北川小、北川中	北川村教育委員会	大西 貴美子	tel 0887-32-1223 fax 0887-32-1132
10	6 安田町	南 久雄	F2	2	1	安田町 教育委員会	安田小、安田中	安田町教育委員会	大寺 博子	tel 0887-38-6714 fax 0887-38-6717
11	7 芸西村	竹内 恵介	F5	4	1	芸西村 教育委員会	芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会	都築 青空	tel 0887-33-2400 fax 0887-32-2014
12	8 香南市	岡崎 勉	F6	5	3	香南市 教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中 赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中	香南市教育委員会 学校教育課	石原 正仁	tel 0887-50-3019 fax 0887-50-3020
13		内藤 雅廣	F3	6	4					
14	9 南国市	比江森 信子	F2	4	4	南国市 教育委員会	岡豊小、久礼田小、国府小、 奈路小 後免野田小、長岡小、日章小、 大湊小 大隆小、三和小、福生小、 十市小 白木谷小	南国市教育委員会 学校教育課	西 宝子	tel 088-880-6568 fax 088-880-6201
15		谷口 省文	H24	4	4					
16		田中 晋	H27	4	4					
17		田岡 久典	F5	1	1					
18	10 大豊町	都築 清	F4	1	1	大豊町 教育委員会	大豊学園(義務教育学校)	大豊町教育委員会 人づくり班	宮岡 佐知子	tel 0887-72-1031 fax 0887-72-1032
19	11 いの町	石川 直正	F5	2	1	いの町 教育委員会	伊野南小、伊野南中 枝川小 川内小	いの町教育委員会	折付 日和	tel 088-893-1922 fax 088-893-2121
20		黒石 大	F6	1	1					
21		梅谷 圭二	新	1	1					
22	12 土佐市	中川 守	H30	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第 一小、高岡中、宇佐小 高岡第二小、蓮池小、波介小、北原 小、戸波小、戸波中	土佐市 少年育成センター	田原 竜平	tel 088-852-7696 fax 088-852-5241
23		矢野 泰幸	H30	6	5					
24	13 須崎市	谷脇 秀幸	F3	7	4	多ノ郷小学校	南小、多ノ郷小、香我小、浦ノ内小 南中、浦ノ内中、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会 学校教育課	岡崎 美紀	tel 0889-42-5291 fax 0889-40-0073
25		西森 茂幸	F5	6	4					
26	14 日高村	山下 忠一	H21	5	3	日高村教育委員会	加茂小、日下小、能津小 日高中、加茂中	日高村教育委員会	山本 奈央	tel 0889-24-5115 fax 0889-20-1572
27	15 梶原町	今井 久光	F2	2	1	梶原学園	梶原小 梶原中	梶原町教育委員会 生涯学習課	山本 智也	tel 0889-65-1350 fax 0889-40-2055
28	16 中土佐町	堅田 謙洋	新	7	3	中土佐町 教育委員会	久礼小学校、上ノ加江小学校、大野 見小学校、久礼中学校、大野見中 学校、久礼保育所、大野見保育所	中土佐町教育委員 会	梅原 幸司	tel 0889-52-2661 fax 0889-52-2013
29	17 四万十町	清藤 泰彦	新	3	3	四万十町 少年補導 センター	東又小、影野小、仁井田小 川口小、窪川小、七里小、米奥小 田邊野小、十和小、北ノ川小	四万十町教育委員 会 生涯学習課	中村 良輔	tel 0880-22-3576 fax 0880-29-0073
30		野村 和弘	F5	4	4					
31		田邊 幹男	H29	3	3					
32	18 四万十市	酒井 敏	F2	4	3	真岡小学校	真岡小、中筋小、東中筋小 中村西中	四万十市教育委員 会 学校教育課	稲田 智洋	tel 0880-34-5445 fax 0880-34-4271
33		林 正秋	H30	4	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、八束小			
34		芝 正司	F5	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中			
35		松本 公夫	F6	4	3	東山小学校	東山小、大月小、藤岡小、中村中			
36		武田 弘一	H27	3	2	中村小学校	中村小、利岡小、中村中			
37	19 土佐清水市	池内 正樹	新	5	3	土佐清水市 少年補導 センター	清水小、足摺岬小、清水中、 きらら清水保育園、清水幼稚園 三崎小、三崎保育園	土佐清水市 少年補導センター	永野 博文	tel 0880-82-3501 fax 0880-83-0782
38		安岡 孝利	F1	2	1					
39	20 宿毛市	瀧本 節	新	4	4	宿毛市 青少年育 成センター	宿毛小、威陽小、平田小、 山奈小 宿毛小、大島小、威陽小、 小筑紫小	宿毛市教育委員会 学校教育課	山岡 理奈	tel 0880-62-1246 fax 0880-62-1272
40		野々下 直人	新	4	4					
41	21 黒潮町	大石 正幸	H19	3	2	黒潮町 こどもサポ ートセンター	拳ノ川小、佐賀小 佐賀中 上川口小、南郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大方中	黒潮町教育委員会 生涯学習係	宮上 昌人	tel 0880-55-3117 fax 0880-55-3119
42		國友 積	H28	6	5					
43	22 三原村	榎 喜章	H30	2	1	三原村 教育委員会	三原小、三原中	三原村教育委員会 学校教育係	多智花 宏美	tel 0880-46-2559 fax 0880-46-2560
44	23 大月町	吉岡 利昌	F1	2	1	大月小学校	大月小、大月中	大月町教育委員会	島崎 陸	tel 0880-73-1118 fax 0880-73-1815
45		佐伯 和弘	F5	2	1					
23市町村		計 45人		155	111					

## 令和7年度 高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 開催要項

### 1 趣 旨

地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容や見守り活動の充実に向けて、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日 時 令和7年5月20日（火） 14：00～16：00

4 会 場 オープピア高知図書館 4階 ホール  
（高知市追手筋2-1-1 Tel：088-823-4946）  
※会場地図は別紙に記載

5 参加対象 令和7年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業  
市町村教育委員会事業担当者及びスクールガード・リーダー

### 6 日程及び内容

#### 〈日程〉

14:00	14:10	14:30	15:55	16:00
開会 自己紹介	説明 (県教委から)	講話・実技・交流 (Go! Go! 市民防犯推進プロジェクト 主宰から) ※途中、休憩あり	閉会	
(20分)			(85分)	

#### 〈内容〉

- ① 説 明 「高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨について」  
「スクールガード・リーダーの活動や見守り活動の充実に向けて」  
高知県教育委員会事務局 学校安全対策課
- ② { 講 話 「見守りが育む！地域と子どもたちの安全！」  
実 技 「見守りを安全に行うためのコツ」  
交 流 「見守りのやりがいや抱負 など」  
Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト 主宰  
市民防犯インストラクター 武田 信彦 氏

#### 講師紹介

武田 信彦 “ヨッシー”

Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト主宰 市民防犯インストラクター

1997年 大学在学中に国際的な犯罪防止 NPO の活動に参加。東京都内の繁華街で街頭パトロールを行う。渋谷、池袋ではリーダーとして本格的な防犯活動を展開。多くの事案対応や実践経験をとおして「一般市民として身を守る」「地域防犯における一般市民の役割」について専門的に取り組む。市民防犯のパイオニアとして、警察庁「防犯ボランティアリーダー研修会」、文部科学省「学校安全指導者研修」をはじめ、全国各地で多数の講師を務めている。

市町村名	地域学校協働活動						放課後児童対策パッケージ(小学校)		家庭教育支援事業
	本部数	実施学校数					児童クラブ	子ども教室	
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(幼・保)			
1 室戸市	5	4	4			1	2	3	
2 安芸市	9	8	1				6	8	
3 南国市	17	13	4				18	3	
4 土佐市	11	9	3				8	7	○
5 須崎市	10	8	5				6	4	○
6 宿毛市	10	7	5				3	4	○
7 土佐清水市	1	3	1				1	4	○
8 四万十市	15	13	3				15	8	
9 香南市	9	7	4				12	2	
10 香美市	9	7	3			1	10	4	○
11 東洋町	1	1	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	○
13 田野町	1	1	1			1		1	
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1			1				1	○
22 いの町	8	7	5				8	4	○
23 仁淀川町	1	2	2					2	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	○
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 橋原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	2	2			2		3	○
30 四万十町	13	10	3				1	11	○
31 大月町	1	1	1					1	
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	7	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	52(56)	38(39)	14(17)	2			88	41	
36 県立	10				10				
<b>事業実施予定合計</b>	<b>206</b>	<b>169</b>	<b>81</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>188</b>	<b>137</b>	<b>18</b>
<b>合計</b>	<b>(211)</b>	<b>(171)</b>	<b>(85)</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>188</b>	<b>137</b>	<b>18</b>

※地域学校協働活動の( )内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校3校、国の示す本部の1要件を満たす高知市の学校2校及び一財対応の学校組合2校を含む。

## 令和8年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画

## 1. 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、また保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

## 2. 重点取組

- (1) 市町村担当者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動リーダー、協働活動サポーター、特別支援・共生サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2) 子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (3) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (4) 事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (5) 若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20歳から39歳及び市在住の15歳から19歳）の社会的自立を推進する。

## 3. 事業計画

## (1) 推進委員会

時期	内 容
11月上旬	・令和7年度事業報告      ・令和8年度中間報告 等
1月下旬～ 2月上旬	・令和8年度事業報告      ・令和9年度事業計画 等

## (2) 研修会等

## ①全体研修

時期	内 容
8月27日(木)	高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会）※小中学校課との合同開催 ・講演、実践発表、意見交換 等

7月28(火)～ 30日(木)	地域コーディネーター研修会 ※3会場で各1回(西部・中部・東部) ・講演、実践発表、ワークショップ、意見交換等
2月	第12回高知県社会教育実践交流会 ・実践発表、パネルディスカッション、交流タイム 等

②放課後児童対策パッケージ推進事業に係る支援員等研修

■放課後児童対策パッケージ推進事業に係る資質向上研修 ※東部、中部、西部地区別に開催

- ・安全・防災(6月)
- ・発達理解(9月)
- ・子どもの発達障害等の理解促進研修会(11月)
- ・安全・防犯(1月)

※時宜を得た研修の必要性が生じた場合は、テーマの変更または追加で1テーマ実施

■放課後児童支援員認定資格研修(10月～12月)

- ・年1回(1回あたり16科目24時間、計4日間の連続講座)

■子育て支援員研修 放課後児童コース(9月)

- ・年1回(6科目9時間、計2日間の連続講座)

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会、フォローアップ研修会及び講座の開催

- ・段階的なファシリテーター養成(基礎編・活用編・実践編、フォローアップ)
- ・保育所や地域子育て支援センター等での講座の開催…ファシリテーター認定者の派遣

④「『学習相談・学習支援』検討会」の開催

- ・若者サポートステーションについての理解促進(支援状況等)
- ・教育委員会や福祉部局、労働関係部局等との連携・協働する推進体制の構築に努める

(3) その他

- ・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組
  - 3要件①充実した地域学校協働活動の実施
    - ②学校と地域との定期的な協議の場の確保
    - ③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化
- ・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化や地域学校協働本部実践ハンドブックや事例集等の活用により、地域学校協働本部の活動の充実、質の向上に取り組む
- ・地域学校協働本部事業及び放課後児童対策パッケージ推進事業(放課後子ども教室、放課後児童クラブ)に関する取組状況調査の実施(6～10月頃)

R8.1.31 現在

市町村名	地域学校協働活動						放課後児童対策パッケージ(小学校)		家庭教育支援事業
	本部数	実施学校数					児童クラブ	子ども教室	
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他(幼・保)			
1 室戸市	5	4	4			1	2	3	
2 安芸市	9	8	1				6	10	
3 南国市	17	13	4				18	3	
4 土佐市	11	9	3				11	7	○
5 須崎市	9	7	2				6	4	○
6 宿毛市	10	7	5				3	4	○
7 土佐清水市	1	2	1				1	5	○
8 四万十市	15	13	3				16	8	
9 香南市	9	7	4				13	2	
10 香美市	9	7	3			1	10	4	○
11 東洋町	1	2	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	○
13 田野町	1	1	1			1		1	
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1			1				1	○
22 いの町	8	7	5				10	4	○
23 仁淀川町	1	2	2					3	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	○
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 橋原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	2	2			2		3	○
30 四万十町	12	9	3				1	11	○
31 大月町	1	1	1					1	○
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	6	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	52(56)	38(39)	14(17)	2			88	41	
36 県立	10				10				
<b>事業実施予定合計</b>	<b>204</b>	<b>166</b>	<b>78</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>195</b>	<b>141</b>	<b>19</b>
<b>合計</b>	<b>(209)</b>	<b>(168)</b>	<b>(82)</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>195</b>	<b>141</b>	<b>19</b>

※地域学校協働活動の( )内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校3校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校1校及び一財対応の学校組合2校を含む。

# 令和7年度 地域学校協働本部事業に関する 取組状況調査(まとめ)



取組状況調査結果より 令和7年9～12月 事業実施市町村、小中学校、義務教育学校、地域学校協働活動推進員を対象に実施

## 1 本部事業を実施してみて、どの程度効果があったと感じていますか。

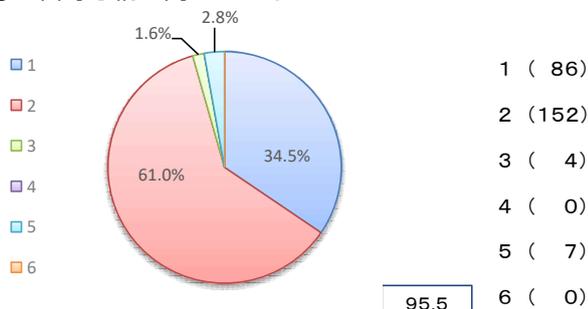
選択肢 1 効果が得られた 2 ある程度効果が得られた 3 あまり効果が得られなかった  
4 効果が得られなかった 5 分からない (6 無回答)

(1) 子どもたちが地域住民と交流し、多様な体験をすることによる効果について(学校関係者向け取組状況調査より)

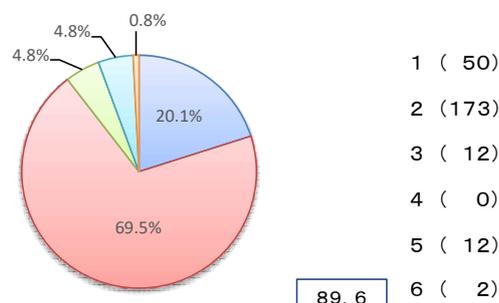
※□は1、2の合計

n = 249

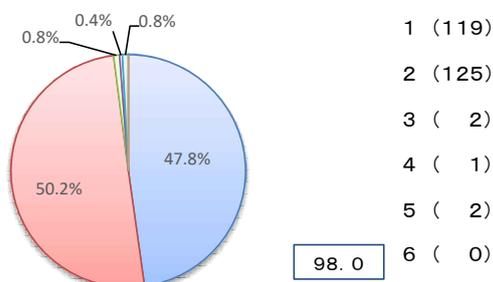
### ① 自尊感情の向上につながった



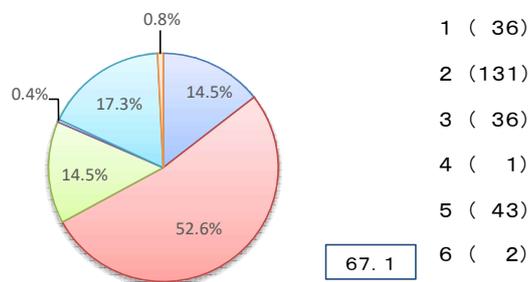
### ② 規範意識の向上につながった



### ③ コミュニケーション能力の向上につながった



### ④ 学力向上につながった

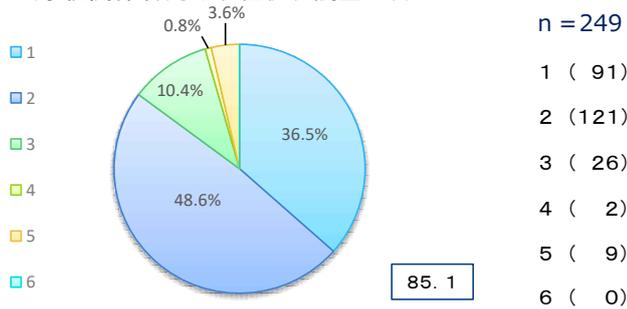


- 選択肢 1 効果が得られた 2 ある程度効果が得られた 3 あまり効果が得られなかった  
 4 効果が得られなかった 5 分からない (6 無回答)

※  は1、2の合計

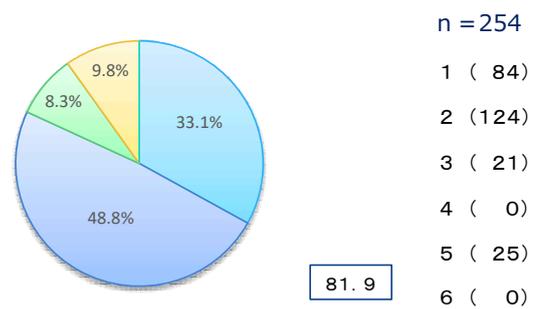
(2) 教員の働き方改革につながった

(学校関係者向け取組状況調査より)



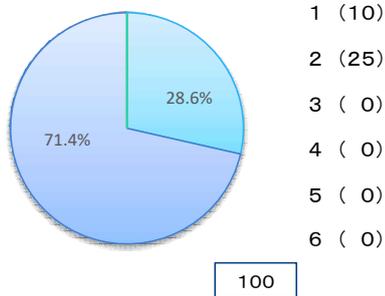
(3) 学校外で、子どもたちと地域住民が交流する機会が増えた

(地域学校協働活動推進員向け取組状況調査より)

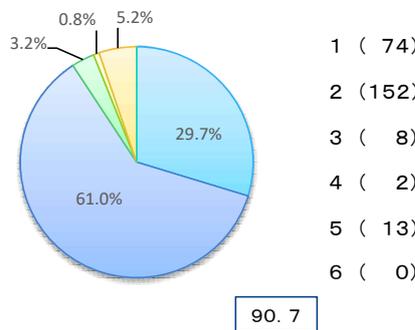


(4) 地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった(共通項目)

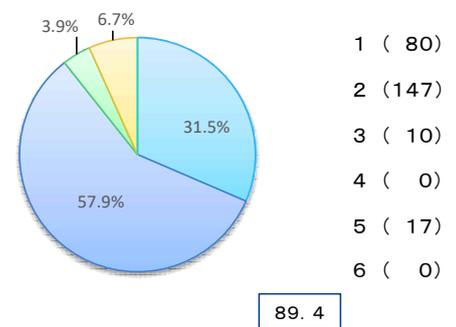
<市町村担当者> n = 35



<学校関係者> n = 249



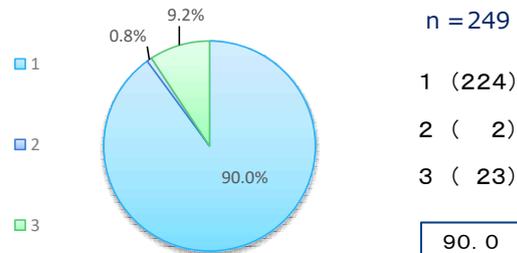
<地域学校協働活動推進員> n = 254



2 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動において、子どもの課題解決に取り組むことで改善・解決につながりましたか。(学校関係者向け取組状況調査より)

選択肢

- 1 改善・解決につながった  
 2 改善・解決につながらなかった  
 3 分からない



3 効果を感じた取組について、具体例を教えてください。

(市町村担当者向け取組状況調査より抜粋)

◆効果等

- 運動会などの学校行事を地域住民と実施することで地域の楽しみや交流、地域活性化につながっている。
- 書写指導や部活動指導で地域の方の協力により、教員の業務負担軽減と専門性の高い指導が可能になった。
- 地域学校協働活動推進員が地域と学校を繋ぎ、地域の特色を活かした郷土学習や部活動支援ができた。
- ボランティアによる裁縫や剣道など経験不足分野の授業支援ができ、若年層の参加も増えた。
- 推進員が町内業者に専門的な支援を依頼することで、新たな横のつながりを広げることができ、本部事業について知ってもらえる機会となった。
- 地域の伝統文化などの協働活動を通じて、子どもたちと地域のコミュニケーションが深まった。
- 地域住民を講師にした郷土学習等で貴重な学びの体験が実現した。
- 地域と学校の関わりが深まり、地域の教育力向上に寄与している。
- さまざまな世代が交流し、学校では得られない体験を通じて、充実した学習に繋がっている。
- 校舎周りの草引きや花壇整備で児童が過ごしやすい環境が作られた。
- 学習支援、クラブ活動、防災学習、登下校見守りなど地域が主体的に関わり教員の働き方改革にも寄与。
- 学校運営に必要な支援が連携して実施されている。

### (学校関係者向け取組状況調査より抜粋)

#### ◆効果等

- ・職場体験学習において、多岐にわたる地域の事業所の方々にキャリア教育の学習を支えていただき、進路選択への意義ある学びとなっている。
- ・不登校児への別室での見守りにより、安定して登校できるようになった。また学習支援に入っただくことで学力の向上と落ち着いた学級づくりができています。
- ・本校は極小規模校であり、協働本部事業なしでは学校運営が成り立たない状況であり、非常にありがたい。そして、子ども達も常に地域の方々と共に、学び成長しているという実感を持つことができている。今後もこのような活動を継続していきたい。
- ・地域学校協働推進員の活動のおかげで、今年度は水泳の時間に児童を見守る人数を増やすことができた。安全に学習を進めるうえで、大変有効であった。また、推進員が地域のボランティアとの窓口として活動していただけるおかげで、たくさんの方に学校の教育活動にご参加していただくことができた。

#### ◆自尊感情・コミュニケーション能力の向上等

- ・イモ植え、イモ掘りなどのご支援を通して、地域やこども園との交流によりコミュニケーションの向上が図られ、地域に支えられているという安心感の向上にもつながっている。
- ・中2を中心に行う販売学習において、村の方々の協力を得ることができる。村の特産品を販売することで村のアピールにもつながる。そのことにより、生徒一人一人の満足感が得られ、自尊感情の高まりへつなげると考える。

#### ◆地域の魅力発見・郷土愛・感謝の気持ち等

- ・サーフィン授業では、地域の海の良さ、人の温かさに触れることができ、「郷土愛」・「チャレンジ精神」の向上につながっている。
- ・総合的な学習の時間における「共生」、「社会貢献」、「自己実現を創造する町づくり」に関する学習では、市の課題を探求し、解決策を考えることで、地域への郷土愛にもつなげることができた。

#### ◆教員の負担軽減等

- ・体験授業において、地域コーディネーターを中心に講師依頼や準備等をしていただくことで、学校の負担軽減となっている。
- ・コーディネーターの協力により、地域とのつながりが増え、また、教員の働き方改革にもつながり、非常に助かっている。

### (地域学校協働活動推進員向け取組状況調査より抜粋)

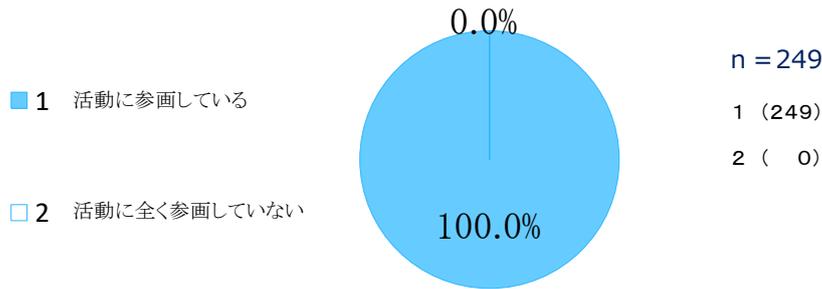
#### ◆効果等

- ・中学生が地域行事に参加することで、住民がさらに積極的に地域の行事に参加するなど活性化している実感がある。
- ・家庭科の主に裁縫の授業補助に入り、困っている児童の支援をすることができ、作品を作り上げるお手伝いできた。また、休み時間の見守り活動では、たくさんの児童と会話をし、交流を深めることができた。
- ・コーディネーターは「つなぎ」役だと思っています。子どもたちのために関連諸団体と情報を共有し、より良い学校を学校現場の方と作っていきたいと考えています。
- ・授業支援や読み聞かせを通じて地域の大人と児童が関わることで、安心感が増している。
- ・家庭で学習習慣が身につけにくい子の学習環境の場を提供したり、児童の基礎学力の定着、学習習慣を身につける手助けとなった。数々の授業補助を継続することによって、地元中学に進学した子どもからも挨拶をもらえたり、ボランティア活動の手助けの一助になってくれている。
- ・地元企業や任意団体と連携した教育活動により多様な支援が得られている。
- ・ボランティア活動や清掃活動に児童・地域と一緒に参加し、児童の自尊感情向上につながっている。
- ・登下校時の挨拶が活発になり、児童と地域住民の交流が円滑になった。
- ・旗振りや見守り活動により児童が顔見知りの大人を増やし、防犯対策にもなっている。
- ・生徒会が企画する清掃ボランティア活動に地域住民も参加し、一緒に清掃を行うことで、生徒のがんばる姿が見れて良い交流になった。
- ・学校の取り組みについて地域の意見等も真剣に聞き、学校の取り組みに反映してくださる。結果として、学校・地域双方が生徒の皆さんをよい方向に導いていけるよう、同じ方向を向いて共に進んでいけていると思います。
- ・地域の様々な行事が学校行事と関連づけて考えられるようになった。また、地域住民が学校児童個々に目が向くようになった。
- ・第1回地域学校協働本部の会での話し合いを通じて話題になったことの中から、第2回の会では、テーマを選び子どもたちと地域住民が共にアイデアを出し合う場を作った。児童生徒代表と地域住民代表が3グループに分かれ、グループ討議を行った。例年では児童会生徒会からの報告に委員からの質問を行う形式だったが、コーディネーターからの提案で実現した。

## 4 民生委員・児童委員の活動への参画状況（学校関係者向け取組状況調査より）

◆県では、民生委員・児童委員が参画し、厳しい環境にある子どもたちの地域による見守り体制を強化した「高知県版地域学校協働本部」への展開を推進しています。

(1) 民生委員・児童委員は活動（登下校・学校外での見守り、学習支援、学校行事、地域コーディネーター等）へ参画していますか。

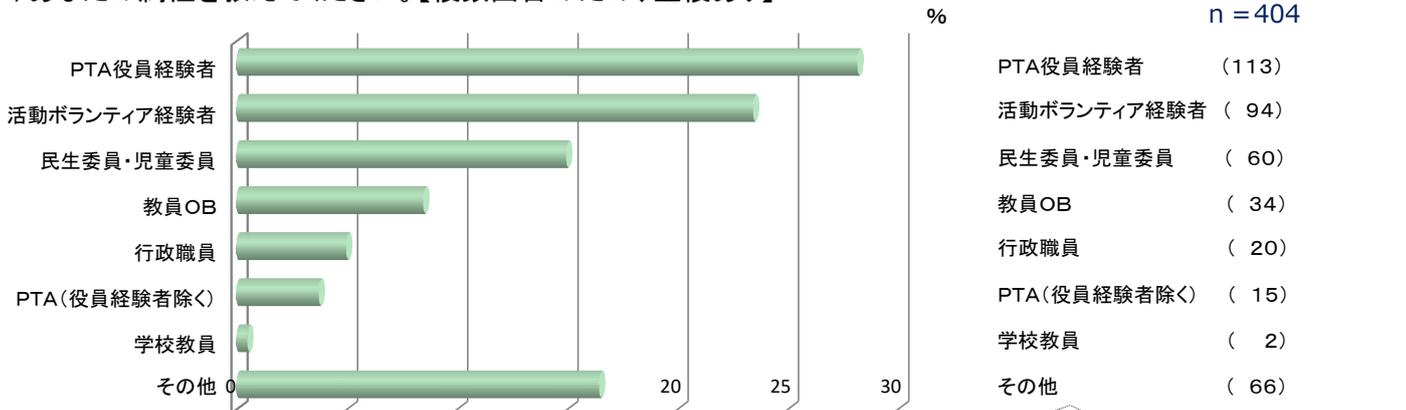


(2) 民生委員・児童委員の参画による見守りで、効果を感じた具体例がありましたら、ご記入ください。

- ・毎朝の交通指導で、安全な通学の見守りをしていただいている。学校訪問を年間2回以上していただき、生徒の活動や頑張りを見ていただける機会がある。また、学校行事に民生児童委員さんが地域の参加者としてたくさん来校していただくことで、生徒たちの励みになっている。
- ・地域学習への協力体制、登下校による見守りを通しての安心感、授業や学校行事の参観による学校教育への理解
- ・学期に1回程度、民生児童委員が訪問した際に学校の取組及び生徒たちの様子を説明するとともに委員からも地域の声など様々な情報（家庭の状況やいじめ・不登校・虐待、登下校の安全等）を提供していただく機会を設けている。これにより、学校外の生徒の様子を知ることができ、より生徒理解へとつながる。
- ・特に1年生入学時の集団下校にご協力いただけることで、担当される地区の児童の顔も知ってもらえることができよと感じた。また、校外学習への見守りにもご参加いただき、地域の方として児童が民生・児童委員の方を知ることができている。
- ・地域での保護者との繋がりが強く、子どもたちだけでなく保護者の様子を含めた家庭環境について把握しており、学校に対して積極的に情報提供をしてもらえる。

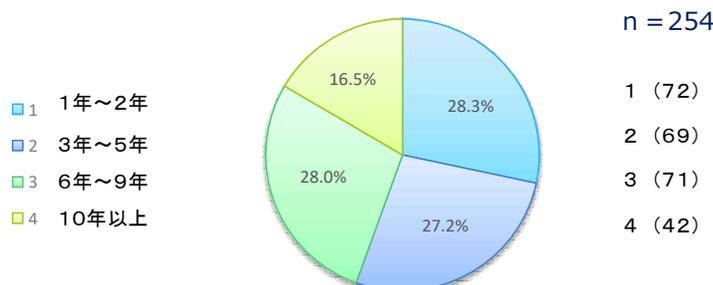
## 5 地域学校協働活動推進員について（地域学校協働活動推進員向け取組状況調査より）

(1) あなたの属性を教えてください。【複数回答のため、重複あり】



・地域住民・地域の各種役員・公民館長・地区区長  
・人権擁護委員・元行政職員・地域おこし協力隊 等

(2) 地域学校協働活動推進員として活動している年数を教えてください。



**(市町村担当者向け取組状況調査より抜粋)****◆ 課題等**

- 地域の協力者の固定化・高齢化が進み先を見据えた不安がある。
- 学校に来校する方が限られ、多様な参加環境作り（開催時期、移動手段、情報発信など）が必要。
- 地域の高齢化と後継者不足による支援者の減少。
- 地域コーディネーターの負担が大きい（兼業での人材確保等が大変）。
- 地域学校協働活動推進員の後継者育成ができていない。
- ボランティアの年齢層が高く、幅広く登録者を増やしていく必要がある。
- 教員の負担軽減に逆行するケース（事務負担や休日ボランティア取組など）。
- 活動の固定化や事業周知不足。
- 調査・アンケートによる学校負担。
- 制度周知不足により地域連携が不十分。
- 管理職や一部教員の業務負担増加。
- 地域間のバランス調整に苦慮。

**◆ ご意見等**

- 制度の簡素化をお願いしたい（調査や推進組織の複雑さを解消）。
- 地域コーディネーターは主体的に地域へ関わるべき。
- 学校運営協議会の教職員参画を積極的に促し意識向上を図るべき。
- さらなる事業周知と理解促進が必要。
- 本事業の正しい理解と市長部局等との連携強化を進めたい。
- 「できること」に目を向けて活動していきたい。
- 学校運営協議会と一体的な推進で働き方改革や課題解決を一層推進することが重要。
- 協議会での検討内容を学校内での周知徹底を図るべき。
- 人材確保のため地域発掘や若年層の登録促進を推進したい。
- 所管課による課題把握のために地域・学校との情報共有体制が必要。

**(学校関係者向け取組状況調査より抜粋)****◆ 課題等**

- 学校の教育活動が平日なので、仕事をされている方には協力依頼がしにくい。
- 地域で活動してくれる方が限られており、高齢化が進んでいること、後継者の姿が見えないことなどを考えると今後の展望が持ちにくい。
- 児童や家庭状況の厳しい実態を改善できるまでの取組には至っていない。今後は市教委や保健師、家庭児童センター等関係機関とさらなる情報共有を行い、課題改善につながるような取組を行う必要性を感じている。
- 課題としては、地域学校協働本部事業の予算が削減される方向にあることである。学校と地域との特徴的かつ伝統的な教育活動を今後も継続していくことができるよう予算確保をぜひお願いしたい。
- 手が足りないとき、地域に支援をお願いする発想があまりなく、学校内で何とかしようとする意識が強い教職員が本校には多い。地域の方々の学校への好意的な思いをもっと素直に受け止め、気軽に日常の困りごとや支援を依頼できる雰囲気や学校に根付かせていきたいと考える。
- ネットワーク（人材）が見えづらいので、明確なボランティア名簿の作成と職員への周知、及び学校の困り感を学校運営協議会で共有した後の、課題を解決するための実行のシステムが必要と感じています。
- 教員の働き方改革につながる支援の依頼を行うことができずにいる。人員確保やその時に応じた活動を提案し実施してもらうことに難しさを感じている。

**◆ ご意見等**

- 地域との交流を継続し、活動の充実を図るためにも、地域とのかかわりを各学年の教育課程に入れ込んだ年間計画を作成し、早めに地域の方へ行事や活動についてお知らせすることが必要である。
- 統合することで校区が市内全域に広がり、現在は学校運営協議会・地域学校協働本部も基盤整備の最中と言えます。そこで、地域コーディネーターと地域連携をどう進めるか協議し、学校運営協議会との連携を推進しています。
- 高齢化が進んでおり、世代交代ができるような取組や仕組みを構築し、持続可能な事業にしていく必要がある。
- 地域人材の活用等で地域とのつながりを持つことができる一方、計画書等の提出物、アンケート類が多く、業務改善につながっているとは言えない。もっと簡素化できないか。
- この事業が余り正しく理解されていないことを残念に感じています。地域学校協働活動の意義や必要性が理解されないとなかなか効果的に活用できないと思います。
- 子どもたちの日々の頑張りやいきいきとした姿をアピールしたり、参観授業等を地域にも知らせたりして、地域と学校がもっと近い存在になればと考えている。

## (地域学校協働活動推進員向け取組状況調査より抜粋)

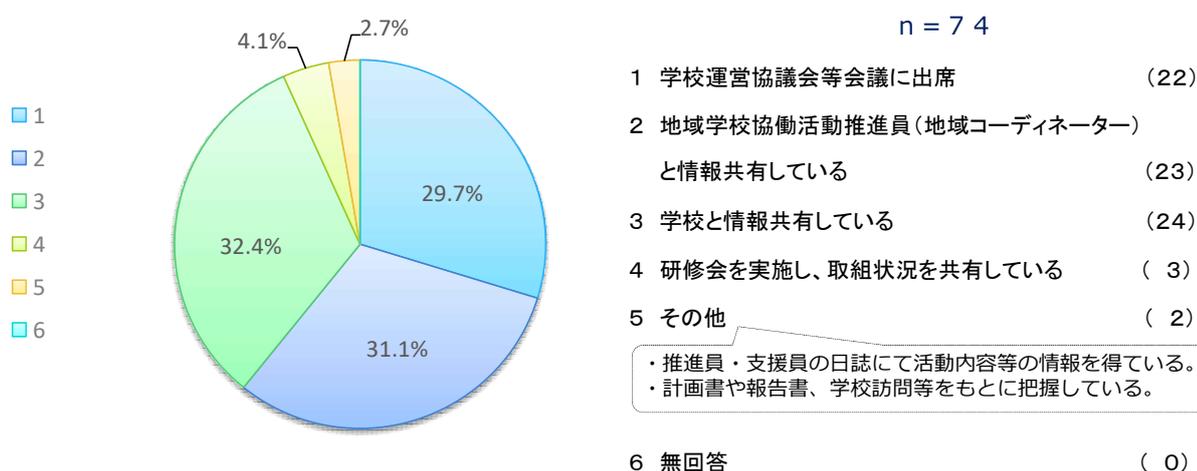
### ◆ 課題等

- ・ボランティアの人数が不足し、準備や運営の負担が偏りやすい。
- ・教職員の多忙化で新しい活動提案がしづらい状況がある。
- ・若手や新規ボランティアが少なく、参加者の固定化が進んでいる。
- ・情報交換の場が減り、地域や教員の連携や知名度アップが課題。
- ・地域行事・伝統文化への子どもの馴染みが薄れ、地域力が弱まっている懸念。
- ・学校と地域（特に中学校）の連携不足や学校の閉鎖性。
- ・活動継続のための人員交代や組織維持の方策が必要。
- ・土台となる学校運営協議会や支援組織での業務負担の偏り問題。
- ・地域住民の負担を最小限にしつつ活動の幅を維持する難しさ。
- ・広報不足により本部事業等の認知度が低い。
- ・活動のマンネリ化と参加者の伸び悩み。

### ◆ ご意見等

- ・本事業を効果的に進めていくためには、学校の先生方の理解とリーダーシップをとる人の存在が必要だと感じています。
- ・新規ボランティアが参加しやすい環境づくりや活動内容の「見える化」が必要。
- ・「おはなし会」用スペースや教室が学校にあれば便利。
- ・学校と地域のコミュニケーションの取り方を模索し、繋がりやすくする工夫が必要。
- ・情報共有システムの導入で多くの地域住民の参加を促すべき。
- ・継続的な支援体制を学校と支援者で熟議すべき。
- ・地域の祭りや文化行事の効果や子どもとの関わりを見直す必要。
- ・学校の働き方改革により、柔軟な活動提案がしづらい現状を改善したい。
- ・ざくばらんに話せる意見交換の場が必要。
- ・学校と地域が互いに思いやり協力し合う関係を強化していきたい。
- ・多様な世代や団体が参加しやすいシステムや環境づくりを進めたい。

## 7 各本部の実施状況について、どのような方法で把握をしていますか。 (市町村担当者向け取組状況調査より) 【複数回答のため、重複あり】



### 活動の推進に向けて

- 地域学校協働本部の取組について、市町村広報誌や地域に関係の深い団体・組織のネットワーク等を活用して、積極的に情報発信しましょう。
- 学校と連携し、地域や学校の特色・実状に合った地域コーディネーターを探しましょう。
- 運営委員会で、事業計画、広報や人材確保の方策、活動プログラムの企画、事業の検証等を行って、特色・魅力ある地域学校協働本部の取組を推進しましょう。
- 地域学校協働本部の事例集・ハンドブックを活用した情報提供や積極的な研修会参加による学び、地域コーディネーター同士の交流機会設定等を通して、地域学校協働本部の取組の充実や関係者の資質向上・育成につなげましょう。
- 地域コーディネーターや地域ボランティアの傷害保険への加入等、万一の場合に備えましょう。
- 円滑で効果的に活動が推進されるよう地域学校協働活動推進員を委嘱することや、地域学校協働本部と学校運営協議会の機能を効果的に高めていくために地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターを学校運営協議会の委員とすることを検討しましょう。

## NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告

令和7年12月31日現在

登録状況	個人	企業・団体	協力 企業・団体
	317	65	63

登録者の属性は、大学生10、  
現職教員12、退職教員10、塾講師9、  
その他276、登録企業・団体65、協力企業・団体  
63

## 【市町村別登録者数】

令和7年12月31日現在

NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体	NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体
		個人	企業・団体				個人	企業・団体	
1	室戸市	8	0	1	19	大豊町	2	0	0
2	安芸市	2	0	0	20	土佐町	0	0	1
3	南国市	25	1	4	21	大川村	0	0	0
4	土佐市	15	1	0	22	いの町	19	3	0
5	須崎市	12	4	0	23	仁淀川町	3	0	0
6	宿毛市	9	0	0	24	中土佐町	1	0	0
7	土佐清水市	7	0	0	25	佐川町	6	0	0
8	四万十市	11	1	0	26	越知町	0	0	1
9	香南市	14	1	2	27	梶原町	1	0	0
10	香美市	27	1	2	28	日高村	2	1	2
11	東洋町	0	0	0	29	津野町	0	0	0
12	奈半利町	0	0	0	30	四万十町	7	3	0
13	田野町	1	0	1	31	大月町	1	2	0
14	安田町	3	0	0	32	三原村	0	0	1
15	北川村	0	0	0	33	黒潮町	5	1	1
16	馬路村	0	0	0	34	高知市	132	46	46
17	芸西村	1	0	1		県外	1	0	0
18	本山町	2	0	0		合計	317	65	63

【協働協力団体】

登録企業

令和7年12月31日現在（順不同）

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	株式会社 相愛	出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	21	株式会社 伽羅嶽	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
5	株式会社 JAエナジーこうち	職場見学・職場体験	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
6	株式会社 ソニック	出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
7	清和アクリス株式会社	出前講座	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	27	株式会社 タケナカダンボール	職場体験・出前講座
9	株式会社 RT	職場見学・職場体験	28	株式会社 土佐龍	出前講座
10	株式会社 クイーク	職場体験・出前講座	29	株式会社 ひがき	出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	30	株式会社 日東商事	出前講座
12	株式会社 オルト	出前講座	31	有限会社 高知事務機	出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	32	株式会社 かんぼ生命保険高知支社	出前講座
14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座	33	有限会社 ラヴィ・ポーテ	出前講座
15	レンタル衣装わかば	出前講座	34	CEN 株式会社	出前講座
16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座	35	幡多信用金庫	出前講座
17	内外典具帖紙株式会社	出前講座	36	ワールドスポーツ(株).スポーツショップフットワーク	出前講座
18	学校法人 平成学園	出前講座	37	有限会社 ヨシオカ	出前講座
19	株式会社 フタガミ	出前講座	38	(株)チクエイティブカンパニー	出前講座

登録団体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークウィン	人材紹介・派遣	15	かわうその里お話の会	出前講座
2	環境活動支援センターえごらぼ	出前講座・人材派遣	16	四万十学舎	出前講座
3	高知県シアリングネイチャー協会	出前講座	17	本のちよとのあ・い・だ	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	19	四万十ふれあい動物村 プレーメン	出前講座
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	20	NPO法人黒潮美感センター	出前講座
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	21	海辺の自然史研究会	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	22	日本3B体操協会高知県支部	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
10	しまんと新聞ばつく高知支部	出前講座	24	(一財)高知県環境検査センター	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	25	103DAMA(とさ玉・けん玉)	出前講座
12	はくみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	26	田邊塾	出前講座
13	腹話術高知	出前講座	27	華道家元池坊高知第一支部	出前講座
14	NPO法人四国自然科学研究センター	出前講座	28		

協力企業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工業株式会社	出前講座	10	株式会社ダスキンカーマート	出前講座
2	宮地電機株式会社	出前講座	11	高知県農業協同組合春野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	株式会社ダイセ	出前講座

協力団体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会(日銀高知支店内)	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知ケナフ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアNPOセンター	人材紹介	28	こうちフィールドミュージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝物資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	NPO法人ももたろう企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知コア研究所	施設見学等
10	ぶらうらんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県のいち動物公園協会	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山こどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ホレボレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	株式会社四万十ドラマ	出前講座	38	高知大学	人材紹介・出前講座
15	株式会社奇想天外(海洋堂ホビー館四万十)	出前講座	39	高知工科大学	人材紹介・出前講座
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	一般社団法人Peaeo of New Farth	人材紹介
17	ボ－イスカウト高知県連盟	出前講座	41	コッコ・サン	本の寄贈
18	S K . 未来創造研究所	研修会講師	42	土佐和紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	高知県スポーツごっこ連盟	出前講座
20	千斗技グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知地方気象台	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46		
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47		
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和7年12月31日現在

	実施数	開催済					未開催 1月～ 開催予定	中止・キャンセル		マッチング 不調	申込数	
		子ども 教室	合同	児童 クラブ	合同	教室・クラ ブで合同		その他	自然災害 感染症予 防措置			主催者・ 講師の都 合
		マ ッ チ ン グ 済										
高知市	11			2	1		8			1	12	
室戸市												
安芸市	6			6						2	8	
南国市	21	3		17			1		1	2	24	
土佐市	1						1				1	
須崎市	15	4		8			3			10	25	
宿毛市	1						1				1	
土佐清水市	1	1									1	
四万十市	4			1	3					1	5	
香南市	21	4		16	1					7	28	
香美市	2			2						2	4	
東洋町												
奈半利町	1						1				1	
田野町	3	3						1			4	
安田町	1	1								6	7	
北川村												
馬路村	2	1					1				2	
芸西村	2	2									2	
本山町										1	1	
大豊町	3	3						1			4	
土佐町												
大川村	4	4								4	8	
いの町	9	5		4				1	1	2	13	
仁淀川町	2	2								2	4	
中土佐町	1	1									1	
佐川町												
越知町	2			2							2	
梶原町												
日高村	6	1		5							6	
津野町	4	4							1	3	8	
四万十町	6	5		1							6	
大月町												
三原村												
黒潮町												
<b>合計</b>	129	44		64	5		16	3	1	2		
<b>マッチング件数</b>	<b>135</b>									43	<b>178</b>	

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：44 子ども教室の合同：0 児童クラブ：64 児童クラブの合同：5 子ども教室と児童クラブの合同：0  
 その他：16（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。） 開催予定（1月～）：3  
 自然災害（台風）による中止：1 講師の都合によるキャンセル：2 日程合わずマッチング不調：43

【マッチング先別人数】

令和7年12月31日現在 延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 （中学校）	児童クラブ	出前講座	研修会等		
	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>197</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>201</b>

**【出前講座申込・開催状況の推移】**

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7~8月)出前講座 申込数	夏季(7~8月)出前講座 開催回数
2021	149	109	127	95
2022	178	119	145	99
2023	184	137	168	125
2024	199	160	50	140
<b>2025(4~12月)</b>	<b>178</b>	<b>129</b>	<b>32</b>	<b>114</b>

**【令和7度出前講座実施状況及び参加者数】**

参加者(延べ人数) 令和7年12月31日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
3,560	546	171	77	4,354

講師データ(職種別延べ人数)

令和7年12月31日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	9	15	14	1	69	5	74	187

講座別実施回数

令和7年12月31日現在

ものづくり									
竹とんぼ作り	石けんクラフト	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とペン立て作り	森林学習と万華鏡づくり	貝殻のクラフト(1)	森林学習と写真立て作り	紙飛行機作り
1	3	3	2	3	6	3	2	2	5
ものづくり									
まきまきコップ	ストーンアート	木の美の工作2【クラフト】	こけ玉	森林学習とレターラック作り	森林学習とプランター作り	色砂の鉢植え(ハイドロカルチャー)	五連発輪ゴム鉄砲作り	磁器絵付け【マグカップ】	空気砲であそぼう
1	1	2	1	2	1	4	2	1	1
ものづくり							体験		
リース作り	巨大シャボン玉作り	プラ板キーホルダー	森林学習とペン立て作り	ピースアクセサリ	飛行機工作	バスボム作り	けん玉教室	筒けん教室	早押しクイズ
2	1	1	6	2	1	1	2	10	1
体験									
思いやりの魔法	ジャグリング	バルーンアート	けん玉教室103DAMA	キッズヨーガ	レクレーション	ジャグリング	キッズヨーガ	バドミントン教室	レクレーションダンス
5	1	5	3	1	1	1	1	2	3
体験			学ぶ						
おかたづけ教室	正しい走り方教室	ミニ四駆	地震の話【防災学習】	十六ミリ映画会	おもしろ算数教室	星のはなし【星空観察】	マンガ教室	折り紙教室	手話教室
5	1	1	1	2	1	1	2	1	1
学ぶ		その他							
電気の話【エネルギー教室】	おもしろ科学教室(2)光るゴミ	マジックショー	マジックショandマジック教室	腹話術					
4	1	10	2	3					

満足度 (出前講座報告書: アンケートより集計...回収率56%)

令和7年12月31日現在

~60%	61~70%	71~80%	81~90%	91~100%
0	0	3	17	52

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和7年12月31日現在

開催地 講師 居住地	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	土佐市	須崎市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	梶原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	計		
室戸市																																			0		
安芸市																																				0	
香南市		1		1								2						1	1							1	1								2	10	
香美市		4	4				2	1		1	1	5	1	5		1				1			1		1	1	1								1	31	
東洋町																																				0	
奈半利町																																				0	
田野町																																				0	
安田町																																				0	
北川村																																				0	
馬路村																																				0	
芸西村																																				0	
南国市			4									1								1																6	
土佐市																																				0	
須崎市																																					0
本山町																																					0
大豊町																																					0
土佐町																																					0
大川村																																					0
いの町																																					0
仁淀川町																																					0
中土佐町																																					0
佐川町																																					0
越知町																																					0
梶原町																																					0
日高村																																					0
津野町																																					0
四万十町												2				1											1		1	1						1	7
宿毛市																																					0
土佐清水市																																					0
四万十市																																					0
大月町																																					0
三原村																																					0
黒潮町																																					0
高知市		1	13	1		1	1			1	1	11		10		1		3	7	1	1		1		3	3	3			5				7	75		
計	0	6	21	2	0	1	3	1	0	2	2	21	1	15	0	3	0	4	9	2	1	0	2	0	6	4	5	1	1	5	0	0	0	11	129		